



平成 28 年 2 月 9 日

各 位

会社名 株式会社メディネット  
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 佳司  
(コード番号:2370 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 宮本 宗  
(TEL 045-478-0041)

## 医療法人社団 葵会 AOI 国際病院と特定細胞加工物製造委受託契約を締結

株式会社メディネット(以下「当社」)は、この度、医療法人社団 葵会 AOI 国際病院(神奈川県川崎市)と特定細胞加工物製造委受託契約を平成 28 年 2 月 9 日付で締結しましたので、お知らせいたします。当社が保有する品川細胞培養加工施設(以下「品川 CPF」)で製造いたします。

医療法人社団 葵会 AOI 国際病院は、東京圏国家戦略特別区域における国家戦略特別区域高度医療提供事業を実施する医療機関として選定されており、循環器領域における低侵襲治療を駆使した最先端医療<sup>i</sup>やがん免疫細胞治療などを実施する計画です。具体的には、新規病床 20 床やハイブリッドオペ室(外科手術と血管内治療を、時間のロスなく出来る手術室)の整備を進めるとともに、悪性腫瘍を対象にしたがん免疫細胞治療を実施する予定です。

当社は、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、品川 CPF の第1期工事部分の特定細胞加工物製造許可を平成 27 年 5 月に取得しました。品川 CPF は、国家戦略特区に隣接し、免疫細胞治療に係る細胞加工に加え、体細胞、幹細胞、iPS 細胞などの多様な細胞加工の製造開発の受託を視野に入れた設備設計をしており、特定細胞加工物の製造受託や再生・細胞医療製品の開発から商業生産までを対応する細胞培養加工施設となっております。

今後、当社は、品川 CPFをビジネス拠点として、細胞医療で当社がこれまで培ってきた技術やノウハウを最大限に活用し、様々な特定細胞加工物および再生医療等製品の製造を受託することにより、医療の発展に貢献するとともに、新たなビジネスを展開し、事業の拡大を図ってまいります。

### 【今後の見通し】

本件は平成 28 年 9 月期の業績に与える影響が軽微であると見込んでおりますが、適時開示の必要性が生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

以上

---

#### i 低侵襲治療

医療法人社団葵会 AOI 国際病院では、低侵襲治療を下記の通り定義しています。

医学では、生体の恒常性を乱す可能性がある刺激全般のことを侵襲と言います。例えば、注射、投薬、手術などが挙げられます。中でも手術は最も大きな侵襲を伴う治療の一つで、大きな傷がつくだけでなく、術後回復するまでの期間も長くなります。これに対し、低侵襲治療とは、この侵襲の度合いをできるだけ小さくする治療のことで、傷も小さく、術後の障害も少なく済む革新的なものです。